

## 55 簿記・会計研修 A (入門)

【合同研修】

～イメージ重視でゼロから簿記を学ぶ～

目的	これからの自治体においては、貸借対照表等による財政状況の的確な把握や、健全な財政状況を維持するための取組が求められている。この研修では、初めて複式簿記や財務会計に携わる者、複式簿記や財務会計の基礎を学びたい者を対象とし、複式簿記の基礎知識向上を図る。			
内容	(1) 専門講師が「初めて複式簿記や財務会計を学ぶ者」「勉強したことはあるが苦手な者」を対象に1日で簿記の流れを解説 (2) 演習問題を通じて組織の財務構造がどうなっているのかをわかりやすく解説			
実施年月日	第1組：令和7年 6月26日(木) 第2組：令和7年 7月10日(木) 第3組：令和7年 9月18日(木)	定員	第1組 60名(市町村職員30名 県職員30名) 第2組 42名(市町村職員21名 県職員21名) 第3組 42名(市町村職員21名 県職員21名)	
対象者	(市町村) 受講を希望する職員 (県) 受講を希望する職員			
実施場所	大分県自治人材育成センター			
推薦期限	令和7年5月30日(金)	《第5回》	経費内訳	内訳表1
指定ホテル	—		その他留意事項	—
研修講師 (プロフィール)	<p>【関口経営事務所 代表 関口 康尚(せきぐち やすなお)氏】</p> <p>一般社団法人全国経営診断士協会 理事 おもてなし経営研究所 主席研究員</p> <p>博士(商学)、経営診断士、財務管理診断士、宅地建物取引士、相続診断士、行動心理士、JBCA.CBMI ビジネスマナーインストラクター、ユニバーサルマナーコーディネーター、居合道五段、温泉初段</p> <p>《紹介》 ◎大学院卒業後、これまでの経験を活かし、研修を通じて組織と個人の成長を支援することを自らの使命と考え、「研修を通じて、人と組織の未来を創る」「わかることは変わること(わかる一かわる)」を基本理念とし、受講者が知識を習得するだけでなく、実務に活かせるスキルを身につけることを目指し「魂を込めた熱い研修」で、より良い未来を創る研修を企画。</p> <p>◎難しい内容を親切、丁寧にわかりやすく、そして“熱いハート!”で指導し、全員参画、全員理解がモットーの自称熱血講師。研修テーマは、簿記財務・公会計・政策形成・新人研修などを担当。講義に片寄ることなく演習を多く採り入れた実践指導の研修を数多くこなす。 温泉が好き、ドライブが好き、研修が好き、甘いものが大好き。</p> <p>《著書・執筆》 ◎イントロダクション財務講座 ◎企業会計システムと財務諸表</p> <p>《最近人気の研修テーマ》 ◎簿記会計研修 ◎公会計研修 ◎地方自治研修 ◎アグリビジネス研修 ◎農業簿記研修 ◎公営企業会計研修 ◎政策法務研修 ◎政策形成研修 ◎商業基礎研修 ◎法律入門研修 ◎新規採用職員研修 ◎新規採用職員フォロー研修 等</p>			
受講者の声	<ul style="list-style-type: none"> <li>・損益計算書、貸借対照表、決算書を実際に作成してみて、理解が深まった。簿記に対する苦手意識が無くなったのがとても良かった。</li> <li>・講師の話がとてもおもしろく、分かりやすかった。簿記を全くさわったこともなかったが、理解できたと同時にとてもおもしろいと感じることができた。</li> <li>・簿記に対して苦手意識がとても強くありましたが、とてもわかりやすく、そして、楽しく簿記を教えて頂いたおかげで、もっと勉強してみたいと思った。決算書と聞くと今までは見るのも嫌になっていたが、今日の研修で、簿記に興味を持つことができた。</li> <li>・簿記の知識が全く無い状態での参加だったが、研修副題のとおりイメージ重視の講義内容で大変分かりやすかった。</li> <li>・演習を交えながらの講義で、貸借対照表と損益計算書の作り方をとてもわかりやすく学ぶことができた。</li> </ul>			
備考	※電卓をお持ちください。			

## 時間割

	9:00 8:50	10:00 20 30	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00 15	17:00
1日目	受付	オリエンテーション	1. 簿記とはなにか 2. 簿記上の取引の認識 3. 取引から仕訳までの流れ	昼食		4. 仕訳から元帳までの流れ 5. 元帳から決算書までの流れ 6. 決算書から組織をイメージする		閉講	

※上記内容は、研修実施時に変更されることがありますので、予めご了承ください。